

科目	ゼミナール I (F)	担当	西村 知晃	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

本ゼミナールでは、組織のなかにいる「個人」の活躍をどのように支援していくか、ということに注目する。また、組織のなかの「個人」がどのような行動を取るのか。なぜ、そのような行動を取るのか、という現象も対象とし、これを心理学的・社会的に探求していく。具体的には、組織行動論(OB: Organizational Behavior)という領域の理論を学び、卒業研究に活用することを目指すものである。尚、各自が主役となり、また、メンバー同士協力してお互いを高めあうという観点から、発表、ディスカッションなどを実施する。

【履修注意】

発表、ディスカッションなどに積極的に参加することを求める。
尚、遅刻は減点の対象となる。また、20分以上の遅刻は欠席とする。

【評価方法】

出席点30%、レポート50%、発表・ディスカッションの積極性20%

【試験について】

試験(含. 再試験)は実施しない。

【予習・復習】

- ・予習: 事前に指示された課題の作成。
 - ・復習: ゼミ内で指摘や議論された内容のまとめ。
- ※尚、メンバー同士が、ゼミ時間以外でも交流や議論することを歓迎する。

【教科書】

購入教科書なし。配布される教材を使用。

【参考書】

必要に応じて、適宜紹介する。

【その他の注意事項】

ゼミメンバーの構成、各人の興味を考慮しつつ、使用する資料を変更する。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミナール I の進め方について
2	講義	モチベーションとレジリエンス、「キャリア」について考える
3	人材管理	経験学習論 I (経験学習の理論)
4	人材管理	経験学習論 II (10年ルールとは何か? 営業パーソンの熟達)
5	人材管理	サービス人材のマネジメントと顧客満足の関係
6	人材管理	顧客第一の経営理念浸透・組織文化形成の事例
7	人材管理	感情労働 I (感情労働の実態)
8	人材管理	感情労働 II (感情労働とは? / 感情労働への顧客や社員の動員)
9	人材管理	スポーツ選手のセカンド・キャリアに関する研究
10	組織行動論の理論探訪	組織コミットメント
11	組織行動論の理論探訪	組織市民行動
12	組織行動論の理論探訪	組織社会化とリアリティ・ショック
13	組織行動論の理論探訪	リアリティ・ショックの研究紹介
14	人材管理	・留学生採用・女性活躍推進15
15	個人報告	各自が目撃した理論や現象の疑問点・批判のまとめ
16	個人報告	夏季休業中の計画報告(卒業研究テーマ探索、インターンシップなど)